

地域公共交通機関としてのタクシー事業の取組み

平成 30 年 4 月 24 日
全国ハイヤー・タクシー連合会

- 地域公共交通として、タクシー業界が現在鋭意取組を進めている主な施策は次のとおりである。
- ① 多様化する利用者ニーズに対応するため、高齢者や車いすの方など利用者にとって乗降の配慮がなされているUDタクシー（ユニバーサルデザインタクシー）の導入を進めているところであり、東京タクシー業界では、新しいタクシー専用車両「JPN-Taxi」を2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに、都内の法人タクシー約3万台のうちの3割にあたる1万台の導入を目指している。
- ② 利用者の利便性向上のため、東京をはじめ各地のタクシー業界では、初乗り運賃の引き下げを行う初乗り距離短縮運賃が導入されているほか、スマホアプリを活用した「相乗り運賃」、「事前確定運賃」、「繁忙時・閑散時による運賃の流動的な運用ができるダイナミックプライシング運賃」、「対象者、エリア、時間帯等を限定した定期制度を導入した定期運賃」等、新しい運賃制度の導入を目指して実証実験を進めている。
- ◇ 初乗り距離短縮運賃 【H29年1月末～東京の初乗り運賃410円】
 - ◇ 相乗り運賃（タクシーシェア） 【H30年1月24日～3月11日実証実験】
 - ◇ 事前確定運賃 【H29年8月7日～10月6日実証実験】
 - ◇ ダイナミックプライシング 【変動迎車料金の実証実験：H30年度実証実験予定】
 - ◇ 定期運賃（乗り放題）タクシー 【H30年度実証実験予定】
- ③ GPS機能を活用し、効率的にお客様をお迎えに上がるスマホ配車アプリについては、現在、全国で約100種類のスマホ配車アプリが活用されている。
- ④ 観光案内タクシーをはじめ、陣痛時の対応についての研修を受けた乗務員がかかりつけの病院までお送りする「妊婦応援タクシー」、チャイルドシート等を備え、お子様だけでも乗車できる「育児支援タクシー」、高齢者や障がい者等手助けが必要な方の外出を支援する「ケア輸送サービス」など利用者の個々のニーズにこたえる新しいサービスの提供に努めている。
- ⑤ 全国ハイヤー・タクシー連合会では、この国の成長戦略の大きな柱である観光先進国の多様化する訪日外国人のニーズに対応した安心・安全で快適なタクシーサービスを提供するため、「訪日外国人向けタクシーサービス向上アクションプラン」を平成30年1月に策定し、東京オリンピック開催の2020年に向けてタクシーサービスの向上に向けた対策を業界の総力を挙げて推進することとしている。
- アクションプランでは、「母国と同じタクシー・ハイヤー利用環境づくり」、「言葉の不安解消」、「決済の不安解消」、「関係機関・団体と連携したプロモーション活動」の4項目を柱として掲げ、言葉の不安解消として、2019年度までに外国語対応ドライバーを1万人に、決済の不安解消として、2018年度末までに3大都市圏においてキャッシュレス対応100%、2019年度までに地方部で対応車両の普及率倍増等の目標を掲げている。
- ⑥ 労働力確保対策の一環として、業界の総力を挙げて女性乗務員の採用、大学新卒者の採用などに取り組んでいる。女性乗務員の採用については、交通政策基本計画に基づき、2020年までに約14,000人の採用を目標として設定している。また、都内の大手事業者は年間100人以上の新卒を採用し、東京のタクシー運転者の平均年齢が平成29年度に初めて低下した。

- ⑦ 過疎地域等の移動ニーズに対応するためには、タクシー事業としてできることがまだたくさんあると考えている。

現在、各協会では、タクシーが地域の公共交通機関として重要な役割を果たすべく、道路運送法に基づく運営協議会、地域公共交通会議及び地域公共交通活性化・再生化法に基づく法定協議会等に参画して、自治体との相互の連携を強め、「まちづくり」と一体となった安全・安心なタクシーサービスの展開に努めているところである。

特に、過疎地等の地域住民の日常生活の足としての役割を担っている「乗合タクシー」については、国、自治体、タクシー事業者が一体となって、国の地域公共交通確保維持改善事業による支援・補助を活用するなどして取組を進めているところであり、平成29年3月末現在、全国で4,174コース、車両数11,943両で実施されている。これは、10年前の平成20年3月末に比べて、コース数で約1.8倍、車両数で約1.5倍の増加となっている。

全国ハイヤー・タクシー連合会では、「乗合タクシー」の更なる普及を全国全ての自治体に働き掛けるため、平成28年2月に「乗合タクシー事例集」を作成し、各協会に対して、協会役員・支部長等が直接自治体を訪問し、「乗合タクシー事例集」を活用して、「乗合タクシー」導入の働きかけを行うよう要請した。各協会では、地方運輸局等の支援を得て、全国約1,700の自治体に対する第1回目の訪問活動を実施し、乗合タクシーの導入の提案を行った。

「乗合タクシー事例集」は、平成28年2月に初版を作成後、同年10月に第2版、同29年10月に第3版作成とリニューアルを重ねているが、各協会では、その都度、版を新しくした「乗合タクシー事例集」を活用して自治体訪問を行い、乗合タクシー導入の提案を行っている。この結果、乗合タクシーの実施コース数は、平成27年3月末が3,799コース、平成28年3月末が4,069コース、平成29年3月末が4,174コースと確実に増加している。

平成30年度取組として、乗合タクシー事例集第4版の作成と、これを活用した協会役員・支部長等による第4巡目の全自治体に対しての訪問活動を地方運輸局と連携して行うこととしている。

タクシー事業者の具体的な地域交通維持の取り組みと可能性

第一交通産業は、全国 34 都道府県でタクシー事業をしており、おでかけ交通を現在全国 43 市町村・123 路線運行している（平成 30 年 3 月時点。自社単独・他社共同運行を含む）。業界としては、全国的に、4,174 コースを実施しており、今後高齢化が加速し、交通空白地域・不便地域が増加する傾向にある中で、ますます地域交通の維持・確保のためにタクシー事業者が果たすべき役割は大きくなっている。

乗合タクシーの実施にあたっては、タクシー事業者として住民の足、移動手段に苦心している自治体に赴き、その実態調査を行政と相談していく。おでかけ交通の事例としては、石川県加賀市の「のりあい号」は、大人 500 円で、平成 29 年度は、13,709 名が利用。沖縄県南城市での「おでかけなんじい」は、大人 300 円で、平成 29 年度は、29,426 名が利用。大阪府堺市の「堺市乗合タクシー」は、大人 300 円で、平成 29 年度は、19,200 名が利用という実績となっている。

また、行政との相談から派生して、石川県では、小松市・加賀市を含む 6 市町でオール加賀会議を結成した。元々 6 市町村がバラバラで行っていた事業を統合し、検討の結果、加賀市内をカバーするルートを提案し、採用された。オール加賀会議は、MICE・インバウンド・企業誘致などの地域のイメージアップ、国内外の観光誘客拡大に繋げる観光グランキャブを展開した。

地域交通の維持のためには、地方公共団体と連携して、しっかりと必要な安全上の措置を実施した上で提供しているおでかけ交通のようなサービスを強化していくことが求められている。仮に、タクシー事業者が、自家用有償旅客運送の主体として認められた場合、安易なコストカットのために本来提供できるサービスが提供されなくなり、ひいては、我が国のタクシーサービスが崩壊するおそれがあると考えている。

コンパクトシティ型 運行事例 乗合タクシー「のりあい号」（石川県加賀市） 人口・68,000名

(運行経緯) 路線バスの利用者が年々減り続け、多額の運行赤字が発生し、路線バスを維持することが困難になっており、新しい交通体系を確立する必要があった。
H20年にバス路線が廃止となり、総合病院や大型ショッピングセンターに行くための交通手段が必要となった。

H20年 路線バスの無い地域で乗合タクシーの運行開始。
H23年 乗合タクシーで加賀市内全域をカバーする形の運行に移行する方向で検討。
H26年 路線バス、乗合タクシーによる「KAGAあんしんネット」を策定。
H27年10月 加賀市が主体となり、市内全域で乗合タクシーの実証実験を開始。
H28年4月 本格運行をスタート。

◆H27年5月に「公募型プロポーザル方式」で企画提案を行い、第一交通グループの「加賀第一交通」に決定。

(運行範囲) **加賀市内を3つのエリアに分けて運行。**
エリアごとに車両にステッカーを貼り、お客様に分かるように運行。
乗継地点（加賀温泉駅）を経由することで、乗り継ぎ料金不要で他のエリアに行くことが可能。

(乗車実績) H28年度・10,456名 → H29年度・13,709名（前年比・131%）

(運行形態) 事前予約制。
各エリアごとに時刻表・バス停を設定し、1時間前までに予約受付。
（月～金曜日）8便、（土・日・祝）5便で運行。バス

(運行料金) 大人・500円。**事前に回数券を購入し、回数券で支払う。**
回数券は市内7か所の公共施設で販売。（車内でも購入可）

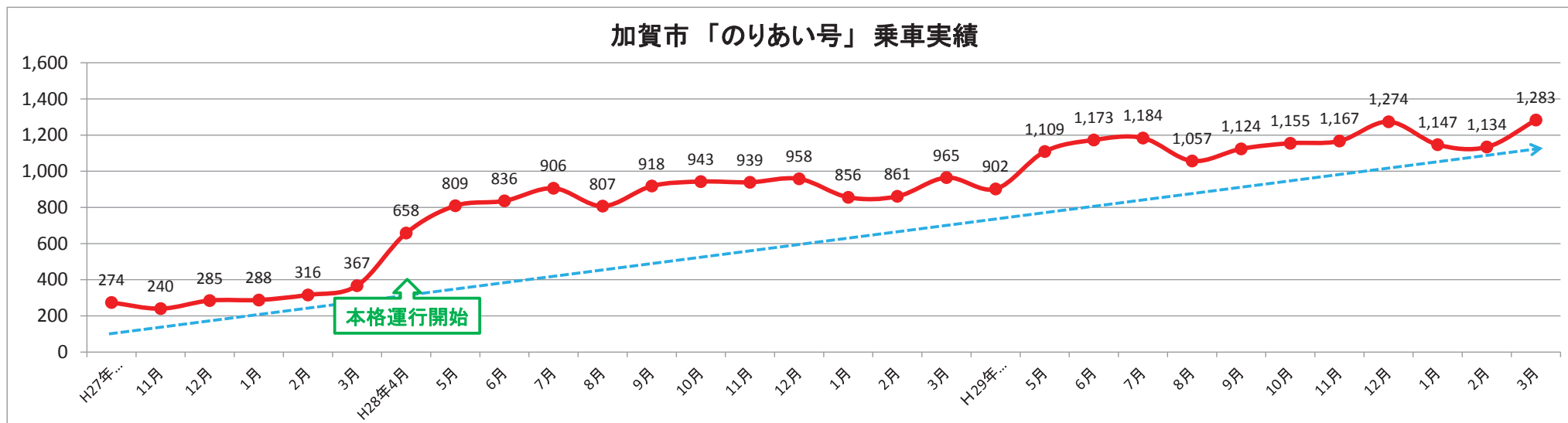
(運行車両) トヨタ・ハイエース（9名乗り） 車両4台
セダン型タクシー（4名乗り） 車両3台

(収支状況) 運行費用・予約受付業務費用を加賀市に請求。収支としては黒字確保。

(運行特色) 運行主体を地域の運行協議会から加賀市に変更したこと。
予約受付は、加賀第一交通の配車センターで365日・24時間受付。

(今後の課題) 月間1,300名の乗客数を目標に掲げ、いかに地域の方に知ってもらうか。
高齢者の運転免許証返納の促進と連携し、のりあい号の更なる利用促進を図る。
3つのエリアに分けて運行しているため、異なるエリア間の移動は、乗り継ぎが必要となり、時間がかかるケースがある。

加賀市「のりあい号」乗車実績



1 電話で予約

予約センター（加賀第一交通株式会社）

電話 (0761) 77-0120

ファックス (0761) 76-0031

受付時間 午前7時～午後7時

まずはお電話
ください



1人でも利用
できます！

●予約締切時間は、時刻表の中に書いてあります。
●予約の変更やキャンセルも予約締切時間までをお願いします。

2 各町の停留地点から



停留地点

3 目的地へ



病院やお店など

4 目的地から



病院や
お店など

5 各町の停留地点へ



停留地点

のりあい号とは

事前に予約し、各町にある停留地点と病院・スーパーなどのあらゆる施設や店舗の間で利用できる交通サービスです。（他の人との相乗りです。）

利用できる方 加賀市在住の方

利用料金 1回乗車 500円
(乗車券が必要です。)

※未就学児は無料です。
※次の手帳をお持ちの方は、半額乗車券をお買い求めいただけます。介添えが必要と認められる方は、介添者が1人まで半額になります。
(乗車券購入時と利用時は手帳の提示をお願いします。)

- 身体障害者手帳
- 療育手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 戦傷病者手帳
- 被爆者健康手帳

販売価格

1回券 500円
(のりあい号の車内を除く)

2回券 1,000円

7回券 3,000円
(1回分お得)

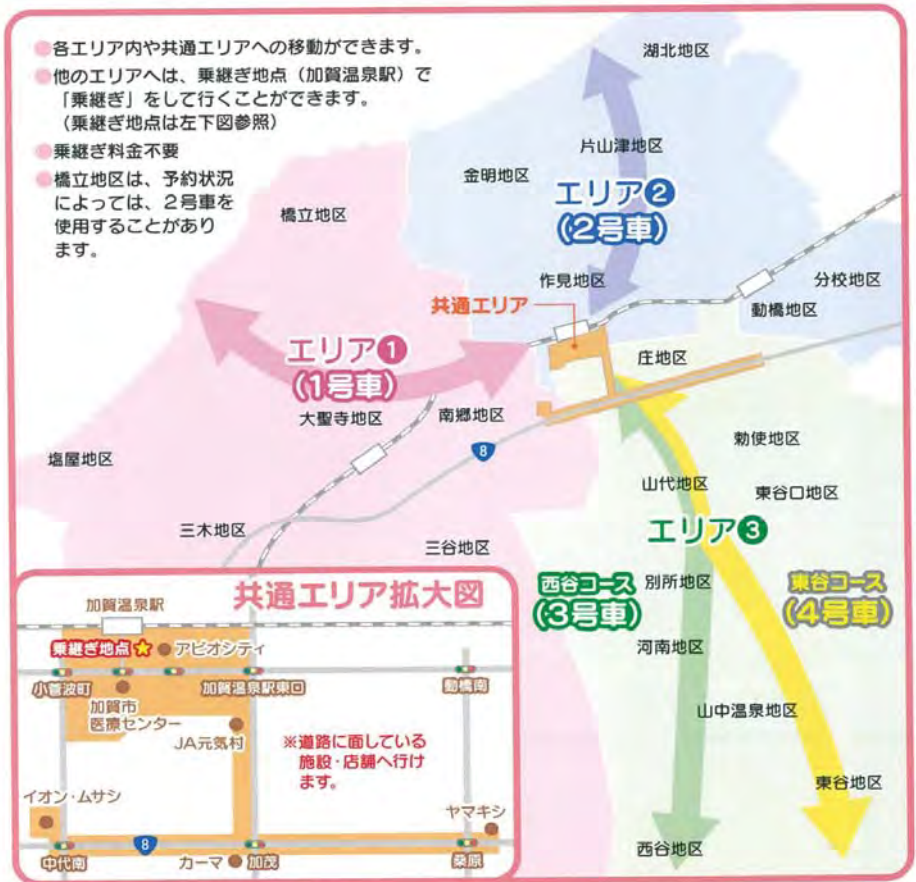
12回券 5,000円
(2回分お得)

※平成30年度より券の種類が変わりました。
※従来の乗車券もお使いいただけます。

乗車券の販売場所

- のりあい号の車内
- 加賀市医療センター売店
- 山中温泉ぬくもり診療所受付
- アビオシティ加賀 1階インフォメーション
- イオン加賀の里 1階サービスカウンター
- 市役所本庁 1階窓口課
- 山中温泉支所 1階窓口課
- 市役所各出張所

- 各エリア内や共通エリアへの移動ができます。
- 他のエリアへは、乗継ぎ地点（加賀温泉駅）で「乗継ぎ」をして行くことができます。（乗継ぎ地点は左下図参照）
- 乗継ぎ料金不要
- 橋立地区は、予約状況によっては、2号車を使用することがあります。



このシールが目印

のりあい号の車両は、上記のエリアごとに次の表示をしてあります。



エリア①の車両



1号車

エリア②の車両



2号車

エリア③の車両



3号車

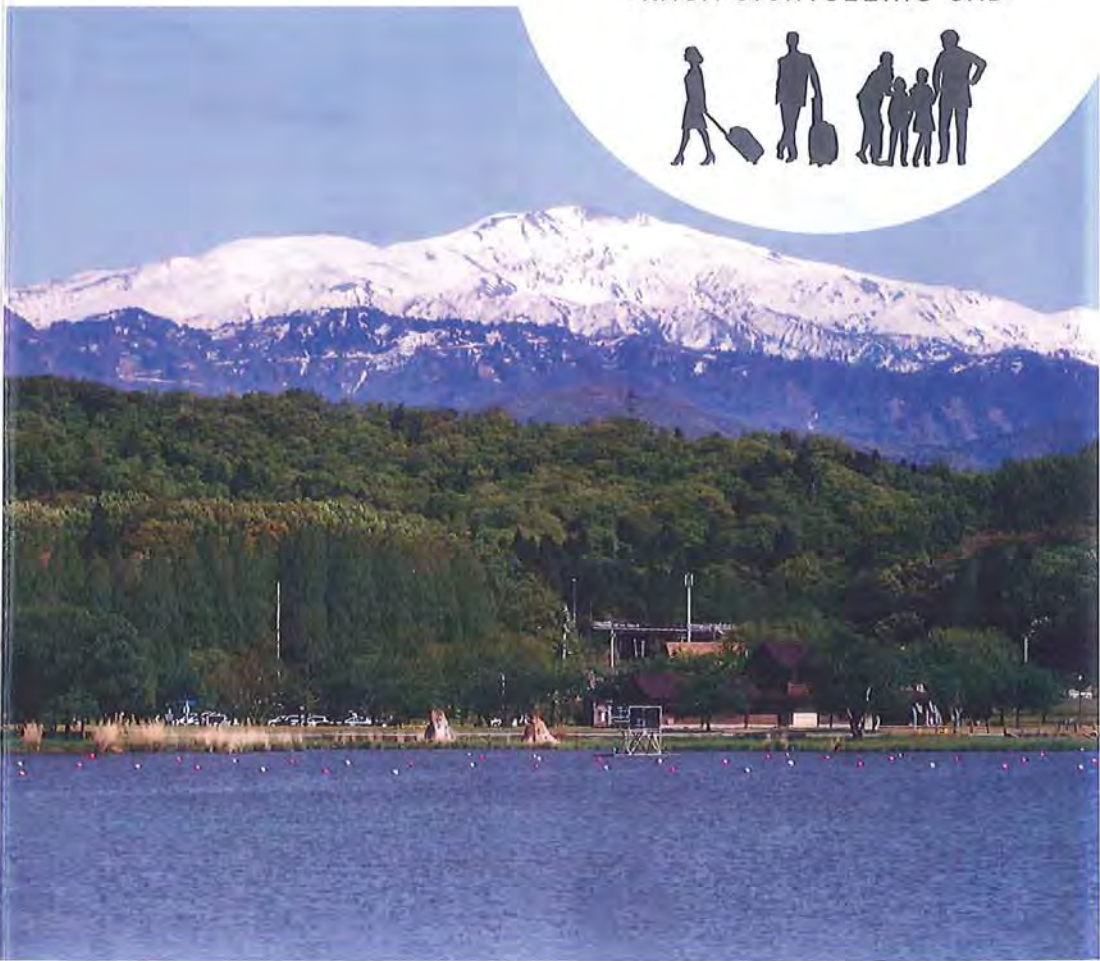


4号車



加賀エリア観光タクシー
加賀の國

観光グランキャブ
 -KAGA SIGHTSEEING CAB-



加賀エリア観光タクシー
加賀の國
 観光グランキャブ
 -KAGA SIGHTSEEING CAB-

古くから北陸の中心で風光明媚な地として栄えた加賀の國。「雲峰・白山」の裾野に広がる豊かな自然に囲まれ、加賀温泉郷をはじめ多くの温泉が湧き出ています。「加賀の國・観光グランキャブ」は日本海の魚介類や加賀野菜のご当地グルメ、白山麓の絶景から歴史に裏打ちされた伝統工芸まで四季を通じて加賀の國の魅力をお届けします。

特徴

- 『加賀の國・観光グランキャブ』は快適で楽しい旅をお手伝いします。
- 移動が楽しい、快適な最上級サルーン
 - 外国人、高齢者、身体が不自由な方、みんなにやさしい“たび”を提供
 - グランキャブの機動力で限られた時間をさらに楽しく
 - 観光のスペシャリストがあなたの旅行をサポート
 - ご希望の時間に、ご希望の場所へお迎えに
 - 安心の12カ国語同時通訳サービス



車両

革張りシートの最上級サルーンでご案内いたします。大空間のエグゼクティブサルーンは最大7人乗り（ドライバーを含む）。ご家族でも、グループでも、居住性、乗り心地ともに上質で快適なご旅行をお楽しみいただけます。お年寄りや身体が不自由な方には乗り降りラクラクのサイドリフトアップ仕様車も用意しています。

(主な装備) 革張りシート※リフトアップ車除く/冷蔵庫/DVD 旅行ガイド/フリー Wi-Fi /テレビ



ご利用方法

お申込はご利用前日18:00まで
 ボランティアガイドご希望の場合は1週間前までにお申し込みください。

加賀第一交通 株式会社
TEL.0761-77-0111
 受付時間 9:00 ~ 18:00

- ① パンフレットの中からお好みのコースを選びください。
 - ② ご希望のコースをお伝えください。
 - ③ 乗車場所、降車場所をお知らせください。
 - ④ 変更等のリクエストがあればご相談ください。
 - ⑤ 所要時間を確認する。
 - ⑥ 日本国内で連絡可能な電話番号とメールアドレスをお知らせください。
 - ⑦ 必要なことがあれば何度でも連絡ください。
- ※会費はタクシー料金のみで、施設入場料、プログラム参加料、ご飲食代、駐車料金等は含まれておりません。※所要時間および料金は目安です。詳しくは申込みの際にご相談ください。※送迎場所、送迎時間、コース等の詳細についてはご相談ください。
 ※観光コース中のお食事についても、ご相談承ります。
 ※ボランティアガイド（一部有料）の手配も承ります。



〒922-0257 石川県加賀市山代温泉桔梗ヶ丘2丁目96番1号
 TEL 0761-73-1113 FAX 0761-72-3019

第一交通タクシーの "Taxi Trip"
<http://taxitrip.0152.jp/kaga/>

「ガイドおすすめのとおき
 コースやグルメを消喫！」



「宿泊施設から！交通拠点！
 ゆとりある最上級グレードの
 大型サルーンで観光地をめぐる特別な旅。」

Free Wi-Fi Taxi

最上級グレードの観光ガイドタクシー 加賀の國 観光グランキャブ



ファーストクラスの室内空間



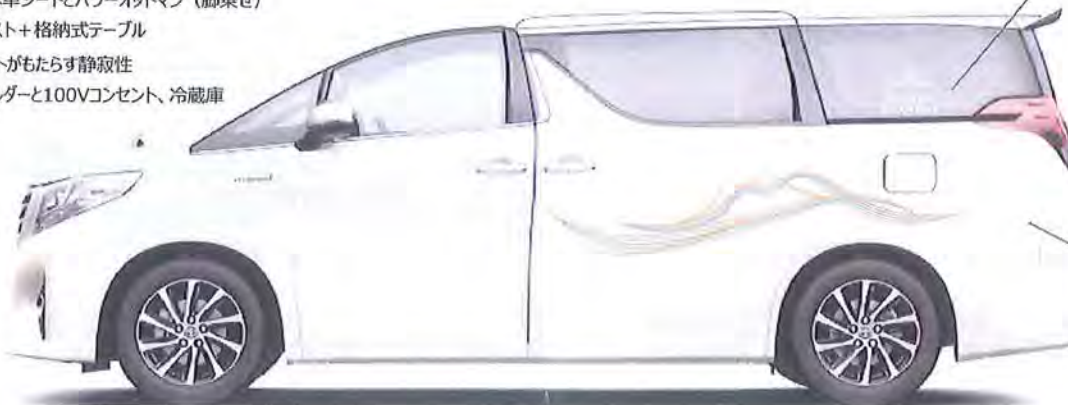
- 12.1型モニター、DVDプレーヤー
- 上質な本革シートとパワー・ホットマン（脚乗せ）
- アームレスト+格納式テーブル
- ハイブリットがもたらす静寂性
- スマホホルダーと100Vコンセント、冷蔵庫

やさしい配慮



(イメージ)

サイドリフトアップ車1台 3月～導入



インバウンドにも対応

- Free Wi-Fi 装備
- 12ヶ国語同時通訳システム
- キャッシュレス（クレジットカード利用可）
- 各国で縁起がよいとされる「8」ナンバー



デザインコンセプト

- 五線譜をイメージした白山の稜線
- 九谷五彩のメロディーが彩る
- 後部窓にグランキャブロゴマークを配置

■ 趣旨・目的

新幹線金沢開業（2015年）、東京オリンピック・パラリンピック（2020年）、新幹線敦賀開業（2023年春）と国内外の交流拡大チャンスの中、加賀地域の来訪者に、特別感のある車両で魅力ある地域ツアーを提供し、地域のイメージアップ、国内外の観光誘客拡大につなげる。

観光地をめぐる交通の充実

地域イメージアップ（ブランド力、話題性）

モデル的取り組みで観光交通活性化

着地型観光の推進（インバウンドにも対応）

■ 事業概要

北陸新幹線や航空機利用者を主な対象として、加賀地域の温泉地と交通拠点を結び、最上級サークルで観光地を巡りながらガイド（運転手）が案内する観光ガイドタクシー（予約制）。

加賀地域連携推進会議（オール加賀会議）が車両を貸与し、運行事業者が運行する。

- 事業主体：加賀地域連携推進会議
- 運行事業者：加賀第一交通㈱
- 事業費：4,000万円（県「観光魅力づくり推進事業補助金」1/2補助）

■ 使用車両

トヨタ アルファードハイブリッド（7人乗り）

（Executive Lounge：4台、サイドリフトアップ車（福祉配慮車両）：1台※3月導入）

上質な乗り心地とおもてなしによるプレミアムな移動空間

加賀の國を満喫する”とっておきの旅“ 随時追加予定



バラエティに富んだ全12コースをご用意しています。コースの詳細は、同封のパンフレットをご覧ください。

例 ○ “ニッポンの文化”再発見の旅

- 加賀の國の手しごとに触れる
- 芭蕉ゆかりの地を巡る
- 加賀の國の絶景を巡る



コース料金は通常よりお得な価格でご用意しています

料金：（例）2時間コース 14,000円～

発着：小松空港/JR小松駅/JR加賀温泉駅/JR松任駅/

加賀温泉郷（粟津・片山津・山代・山中温泉）/辰口温泉

※設定されたコースのほかにも、フリープランで利用可能です。（料金は別設定となります）

観光だけでなく、VIP対応、ビジネス、記念日のおもてなしにワンランク上のサービスを

- 大切なお客様の送迎に
- 晴れの式場へ新郎新婦の送迎に
- 結婚記念日などの特別な日に
- お仲間と寛ぎながらゴルフ場へ
- 大切な方へのサプライズに
- 1日貸し切りもOK

